

授業概要

「児童サービス」は、図書館が児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に、読書への誘いを目的として行う様々なサービスを指します。現在多くの図書館で行われている、お話し会、ブックファースト運動ブックトークなどがそれにあたります。この授業では、「児童サービス」について概観し、その現状についての知識を深めます。また、児童文学の歴史や昔ばなし、絵本、紙芝居の特性について講義します。

授業計画

第 1 回	児童サービスとは何かについて講義する。
第 2 回	子どもと本の関係について講義する。
第 3 回	児童サービスの歴史（1）海外について講義する。
第 4 回	児童サービスの歴史（2）日本について講義する。
第 5 回	児童サービスの現在（ブックファースト運動、わらべうた等）について講義する。
第 6 回	昔ばなし（1）子どもと昔ばなしについて講義する。
第 7 回	昔ばなし（2）語りの特性について講義する。
第 8 回	昔ばなし（3）昔ばなしは残酷かについて講義する。
第 9 回	絵本について（1）絵本の特性と読み聞かせについて講義する。
第 10 回	絵本について（2）昔ばなし絵本について講義する。
第 11 回	紙芝居の特性について講義する。
第 12 回	紙芝居の実演について講義する。
第 13 回	ブックトークについて講義する。。
第 14 回	児童文学の歴史と作品鑑賞（1）お伽噺・幼年童話について講義する。
第 15 回	児童文学の歴史と作品鑑賞（2）童話・児童文学・ヤングアダルトについて講義する。
第 16 回	筆記試験

到達目標

児童サービスについての基礎的知識の習得。昔ばなし、絵本、紙芝居についての特性を説明出来る。ブックトークの目的、方法について説明出来る。

履修上の注意

地域の図書館に出向き、児童サービスの実態を調査し、レポートにまとめる課題があります。コロナ感染状況によっては、ブックトークについてのレポート課題に差し替えます。

予習・復習

予習：日頃から図書館や書店の児童書コーナーへ行き、児童書について興味を持ち知識を増やすこと。
 復習：ノートの整理。講義の中で紹介された作品を講読すること。

評価方法

期末試験（80%）と平常点（20%）を総合的に評価します。
 平常点は、授業への参加態度、コメントペーパー、レポートの提出によるものです。

テキスト

適宜、プリントを配布します。